



令和4年4月20日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」 令和4年度採択機関の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」における令和4年度採択機関を決定しました（別紙1）。

第6期科学技術・イノベーション基本計画において、研究のダイバーシティの確保やジェンダード・イノベーション創出に向け、中高生、保護者、教員などに対し理工系の魅力を伝える活動などにおいて、女性研究者のキャリアパスやロールモデルの提示を推進し、女性の理工系への進学を促進するため、さらなる拡充を図ることとされています。また、第5次男女共同参画基本計画においても、女子中高生、保護者、教員などの科学技術系の進路への興味・関心や理解を全国的に向上させるための取り組みを推進し、次代を担う女性の科学技術人材を育成することを施策の基本方針としています。

女子中高生の理系進路選択支援プログラムは、これらを踏まえ、女子中高生の理工系分野に対する興味や関心を高め、理系進路へ進むことを志すためのさまざまな取り組みを支援します（1件当たりの支援額：上限300万円／年、支援期間：2年）。

本年度の公募は、令和4年1月24日（月）から2月25日（金）の期間に行い、17件の応募がありました。その後、外部有識者で構成される委員会にて審査し、その結果をもとに11件の機関を決定しました（別紙2）。これにより、令和4年度の実施機関は16拠点となります。

なお、事業の詳細については下記のホームページを参照してください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/cpse/jyoshi/>

### <添付資料>

別紙1：女子中高生の理系進路選択支援プログラム 令和4年度採択機関一覧

別紙2：女子中高生の理系進路選択支援プログラム推進委員会 委員一覧

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部 能力伸長グループ

〒332-0012 埼玉県川口市本町4丁目1-8 川口センタービル

亀井 威則（カメイ タカノリ）

Tel：048-226-5671 Fax：048-226-5684

E-mail：[jyoshi-koubo@jst.go.jp](mailto:jyoshi-koubo@jst.go.jp)

女子中高生の理系進路選択支援プログラム  
令和 4 年度採択機関一覧

実施機関名 「企画名」	概要
<p>秋田大学</p> <p>「興味をキャリアへ 続・あきた 理系プロジェクト」</p>	<p>本企画は、人口減少、若者の県外流出という課題を抱える秋田で、「発酵食品」、「自然と再生可能エネルギー」といった秋田の強みを生かしたテーマのもと、地域で活躍する理系人材の裾野拡大を目指す。理系に興味の薄い生徒に対しては、オンライン講座や学校訪問型の出前講座で科学や理系の面白さに触れる体験を実施し、体験教室や施設見学では、身近なキャリアモデルとの交流を通して理系の研究や仕事について、より一層の興味を喚起し、理系進路の可能性についての気づきを得る体験を提供する。保護者・教員への働きかけも同時に行い、キャリア講演会や教員向けの出前講座などにより、生徒が迷いなく理系に進むことができるような支援体制を構築する。</p>
<p>福島工業高等 専門学校</p> <p>「輝くりけじょを 育てるプログラム ～ひとつ、ひとつ、 実現する ふくしま～」</p>	<p>福島県内の女子中高生を対象として、研究職、技術職、技能職を理解するための取り組みを実施する。特に、地域の特性（地元企業での女性活躍、空き家問題、浜通りイノベーション・コースト構想、地元の先輩女子学生の活躍）を反映したプログラムとすることで、より身近に理系女子のキャリアについて考えてもらい、将来の職業選択の際に理工系分野に対する意識を高めることを目的とする。具体的には、主に以下の5つの取り組み ①企業での1dayインターンシップ、②産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所見学、③空き家リノベーションワークショップ、④研究、技術、技能を職業とする女性、女子大学院生との交流、⑤中学校や地域での出前授業を行う予定である。</p>
<p>信州大学</p> <p>「未来を描こう、 理系女子」</p>	<p>女子中高生を対象として、信州の自然の中での野外見学会などの実体験を通じて、サイエンスに対する好奇心と興味を育み、理系への就学意欲を喚起する取り組みを実施する。また、野外見学会では小グループごとに女子学生メンターを配置し、密接なコミュニケーションを図る。その上で、講演会やサイエンスカフェを通じて、理系女子大学生・大学院生、女性研究者や女性技術者と語り合うことにより、興味を持続して理系進路選択に向けて努力する意識を養う。さらに、保護者や教員に向けての講演会やサイエンスカフェにより、女子中高生のキャリアパスやロールモデルを紹介し、安心して生徒を送り出せる環境を広め、無意識の思い込みの払拭に取り組む。</p>

<p>滋賀県立大学</p> <p>「集まれ！未来で輝く クリエイター+系女子 in 滋賀」</p>	<p>本企画では、幅広い理工系分野で高度な専門知識を駆使して滋賀の未来を切り開いていく人材「クリエイター+系女子」を輩出するための基盤づくりを目標とする。そのために、令和2年度採択企画での工学部中心のテーマ設定から大学全体のリソースを生かした幅広いテーマ設定に拡充し、未知の可能性を秘めた女子中高生の多様なニーズ、志向により応え得る体制で、「理系的思考体験」、「キャリアスキル体験」、「職場交流体験」などの各種イベントを実施する。これらのイベントを通じて、女子中高生、保護者、教員に、幅広い理工系分野の魅力と、それらを起点とする多様なキャリアデザインに関する具体的な情報を伝え、理系進路選択を強く後押しする。</p>
<p>京都光華女子大学</p> <p>「リケジョ育成のための プログラミング 教育と実験的学び ～環境と防災を テーマにして～」</p>	<p>女子教育に実績のある京都光華女子大学が、世界トップクラスの研究機関・企業と連携し、「環境と防災」をテーマにした、女性のロールモデル主導による理系女子育成プログラムを展開する。具体的には、環境問題や災害に関する概論授業を実施後、これらをテーマにしたプログラミングの基礎を学ぶ。そして、生徒自らが作成したプログラムで 自然破壊や災害発生時のシミュレーションを行う。さらに、長期休暇を利用して「環境・防災サイエンスツアー」を京都光華女子大学および共同・連携機関にて開催し、VR技術を応用しながらコロナ禍でもリアリティのある環境・防災技術を体験的に学ぶ。</p>
<p>四天王寺大学</p> <p>未来を 進路を考える スマート・ サイエンス・セミナー —スマート社会で輝く 女性になるために—</p>	<p>四天王寺大学と連携機関、実施協力者との協働により、スマート社会で輝く女性を目標に、女子中高生の能力を引き出す取り組みを行う。科学 技術の発展とともに活躍する女性、Society 5.0社会の実現、次世代の教育を支える女性へと成長するための「考える機会」を提供する。女子中高生の科学技術に対する興味・関心、理解の向上を図るには、さまざまな職業選択の道を知る機会や観察・実験の体験を交えて、社会のニーズと進路を考える必要がある。実験ワークショップ、職業紹介やキャリアモデル、理系女子大学生との交流など、理系の進路を知る機会の提供、保護者や教員も参加・視聴し、相談できる機会、また、研究所見学、成果の発信・発表など、多様な支援プログラムを、ニュー・ノーマル時代にふさわしい方法で実施する。</p>
<p>徳島県立 あすたむらんど 子ども科学館</p> <p>「明日に多くの夢が ある場所づくり とくしま・リケジョ・ サイエンスプラット フォームの構築」</p>	<p>徳島県では、若い人たちが進学や就職をきっかけに県外へ引っ越してしまうことが顕著な社会課題の1つである。若い人たちが県外へ流出することは、地元産業の後継者不足、地元産業の衰退に直結する。そこで、次の徳島県を担う人材を育成するために、県内大学や地元企業と連携し、徳島の科学技術や徳島県内企業の技術を女子中高生に紹介し、地元大学や地元企業の取り組みを知ってもらうことで、地元での進学や就職を選択肢の1つとして考えてもらう契機とする。</p>

<p>北九州市立大学</p> <p>「オンラインラボと体験ラボで理系進路を応援する 北九州サイエンスガールプロジェクト」</p>	<p>理工系分野の情報不足から、自身に適性があるかの見極めが難しく、理系を敬遠する女子中高生は多い。また一定の興味・関心を持ちながらも理系進路に踏み切れない生徒もいる。本企画はこれから文系・理系の進路選択をする女子中学生を主たる対象に、オンラインによる「オンラインラボ」と対面による「体験ラボ」を通して、理系への興味・関心を高め、理系分野についての情報や理系を体験する機会を提供し、積極的な理系進路選択の支援を行う。「オンラインラボ」はイベントのオンライン配信、オンライン座談会、音声・動画・情報コンテンツ配信を行う。「体験ラボ」は中学校への出張講義、サイエンスカフェ・座談会、実験・モノづくり体験を行う。</p>
<p>佐賀大学</p> <p>「継続・育成型STEAMガールズ in SAGA・SASEBO」</p>	<p>本企画では、佐賀大学・西九州大学（佐賀県）、長崎国際大学・佐世保工業高等専門学校（長崎県佐世保市）の3大学・1高専で連携し、西九州地域の女子中高生やその保護者、教員に向け、科学への興味を促し、かつ理系進路選択の可能性について学ぶ場を提供する。A：理系への興味・関心を喚起する取り組み（大学教員による専門講義、中学・高校への訪問講義、企業訪問、地域開放型実験体験会）、B：キャリア教育（ロールモデルの提示、男女共同参画講義）の2方向から、対象者や学校の特性に応じて、効果的な取り組みを提供する。また、女子中高生向けのSTEAM教育プログラムの構築や参画機関の女性研究者に調査を行い、その結果を中高生向けに分かりやすく発信するなど、新たな取り組みも展開する。</p>
<p>熊本大学</p> <p>「はばたけ！ 熊本サイエンスガールズ (Girls, Enjoy Science!）」</p>	<p>女子の理系学部の進学率向上を目指し、中等教育段階から科学に親しみを持たせ、理工系分野の面白さを実感できる企画を実施する。理系のロールモデル講演会や親子ガールズスクールでは、理工系分野に対する関心の薄い女子中学生、高校生に理系への興味と関心を持たせ、科学や科学技術に接することが楽しいと実感してもらい、理系学部進学への動機付けを図る。理系ガールズ相談室やサテライトセミナーでは、理系女子学生の良い学生生活および進路状況も紹介し、“女子中高生が理系キャリアを目指すための夢創り”を応援しつつ、保護者や教員の理系進路選択への理解と賛同を高める。</p>
<p>琉球大学</p> <p>「島をつなぐ美ら夢サイエンスプロジェクト 『琉球リケジョ』」</p>	<p>沖縄・奄美地域の女子中学生および高校1年生を主な対象に、生徒の理系進路に対する意識段階に応じたプログラムを行う。学校への出前授業や地域イベントでの出展を通して、理系分野への気づきを引き出し、実験やフィールドワークなどの主体的活動を伴う企画を通して、より確かな理系進路へつなげる。さらに、県教育委員会との連携のもと、教員を対象とした研修会や保護者対象のイベントを開催し、進路選択から大学進学、就職までを見通せる説明会を実施する。また、島しょ地域の女子中高生に対して、市町村教育委員会の協力のもと、出前授業やオンライン型イベントを開催し、地域全体における理系進路選択の環境の醸成を目指す。</p>

**女子中高生の理系進路選択支援プログラム推進委員会 委員一覧**

	氏 名	所 属 ・ 役 職
委員長	加藤 昌子	関西学院大学 生命環境学部 環境応用化学科 教授
委員	荒木 美菜子	埼玉県立戸田翔陽高等学校 教諭
	安藤 妙子	立命館大学 理工学部 教授
	植阪 友理	東京大学 高大接続研究開発センター 准教授
	岡田 行雄	NPO法人BOON 副理事長
	木原 民	リコーITソリューションズ株式会社 理事・技術経営本部長
	矢吹 正徳	理想教育財団 理事

(委員は五十音順)  
(所属、役職は令和4年3月26日時点)